



# 椎茸普及指導情報 第37号

だんだん涼しくなってきました。これから椎茸の作業が忙しくなってくると思います。  
チェーンソーや林内作業車などを扱うときは、特に安全作業に心がけましょう。

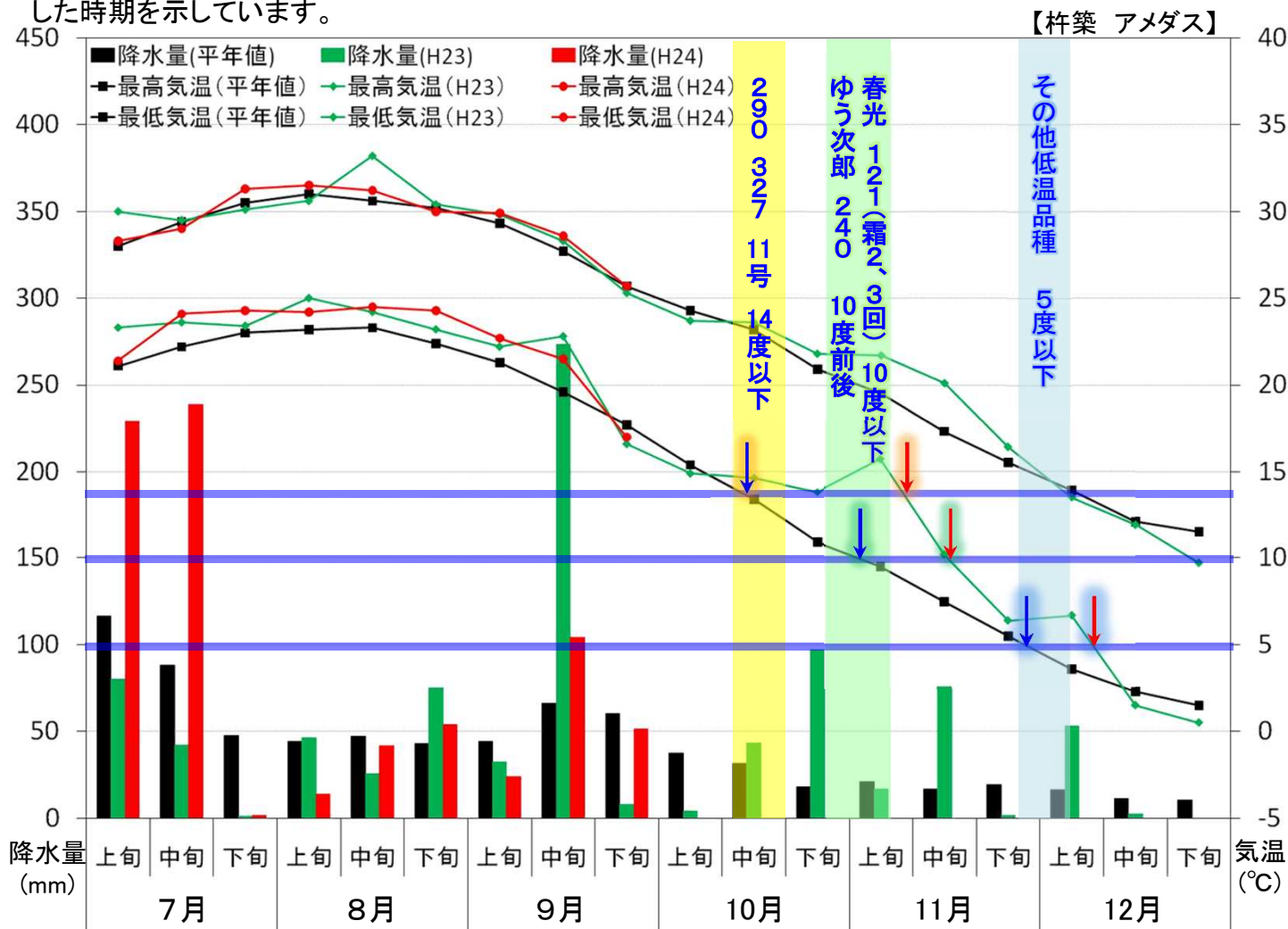
## 1 気象情報と品種別の発生温度帯

下記のグラフは、杵築市の旬別最低気温、最高気温及び降水量を示したものです。

黒が平年値、緑が昨年度値、赤が今年度の値です。

品種名と温度が書かれた色つきの帯(計3色)は、品種毎の発生時期(平年値を基準)を示しています。

青の矢印↓は平年値が目安の温度帯に達する時期を、赤の矢印↓は昨年度値が目安の温度帯に達した時期を示しています。



### ◆ほだ起こし時期の目安

ほだ起こしは、各品種の発生温度を下回ってくる時期が目安とされています。低温刺激と移動刺激を上手に与えて、椎茸の芽切りを促しましょう。

直射日光に長時間当てるとほだ木が痛むので、曇天か朝夕の日差しの強くない日が適しています。散水のできるかたは、ほだ木を下ろしてすぐに散水しましょう。

### 【例：290(森産業)の場合】

- ①発生温度帯は14度以下です。
- ②平年値(黒折れ線グラフ)で確認すると、最低気温が14度以下となっているのは、10月中旬頃です。  
→この時期を目安にほだ起こしの準備をしておきましょう。
- ③昨年度値(緑折れ線グラフ)で確認すると、最低気温が14度以下となっているのは、11月上旬以降です。  
→平年値が示す時期と大きく異なっています！  
実際の最低気温をチェックしながらほだ起こしを行う時期を決めましょう。

## 2 季節予報について

### 九州北部地方(山口県含む) 1か月予報 (9月15日から10月14日までの天候見通し)

平成24年9月28日 福岡管区気象台 発表

#### <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

#### <向こう1か月の各階級の確率(%)>

【気温】	40	30	30
【降水量】	30	30	40
【日照時間】	40	30	30

凡例 ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### <気温経過の各階級の確率(%)>

【1週目】	40	40	20
【2週目】	40	30	30
【3~4週目】	30	40	30

凡例 ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

#### <予報の対象期間>

- 1か月 : 9月29日(土)~10月28日(日)
- 1週目 : 9月29日(土)~10月5日(金)
- 2週目 : 10月6日(土)~10月12日(金)
- 3~4週目 : 10月13日(土)~10月26日(金)

### 九州北部地方(山口県含む) 3か月予報 (10月から12月までの天候見通し)

平成24年9月25日 福岡管区気象台 発表

#### <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

#### <向こう3か月の各階級の確率(%)>

【気温】			
3ヶ月	30	30	40
10月	30	30	40
11月	30	40	30
12月	20	40	40

【降水量】			
3ヶ月	30	40	30
10月	30	40	30
11月	30	40	30
12月	30	30	40

凡例 ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 3 今年の活着・伸長状況

植菌時期の降雨量(3~4月)は平年並でした。昨年の同時期と比較すると条件は良かったのではないのでしょうか。

一方、以降の降水量は、5月が少なかったものの、6月の雨量としては過去10年で最大となっており、また7月の降水量も平年値の2倍近い値となっています。

通風管理がよくできていなかった伏せ込み地は、湿性の害菌が発生していないかどうか確認しておきましょう。(湿性の害菌はあまり良くないものが多いので、何か調べて欲しいことがありましたら、普及員までご相談下さい。)



伐採: 1月(寒切り) 植菌: ~5月上旬



## 4 原木の適期伐採

良質なほだ木作りは、適期に原木を伐採することから始まります。

- ①黄葉3分から7分期が適期とされています(5分黄葉を目安にしてください)。
- ②伐採前後に晴天が続く時期に行ってください。

→北向き・谷筋は早めに伐採、遅めに玉切り

### ◆大径原木を使うなら・・・(林業研究部きのこグループ研究結果より抜粋)

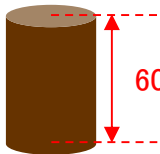
**⚠ 問題点:** 重量が重く、取扱に労力が必要  
直径15cm以上は体積あたりの収量が低下する傾向がある→**芯水が抜けにくい**  
(10cm程度の通常ほだ木の60~70%)

#### 対処法①: 刻み処理

- 断面方向に材中心部まで半円状に切れ目を入れる  
→1分当たり1~2本の処理が可能  
→縦に切れ目を入れる処理は、原木の固定が必要で作業の危険性が高い
- 刻み3箇所通常接種 又は 刻み1箇所3~4倍の接種量 が有効  
→刻みを入れた近くにできるだけ接種する  
→初回発生を確保するためには、刻み3箇所が有効



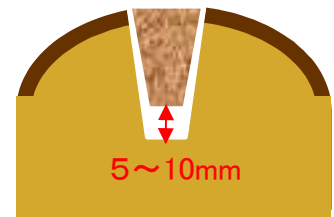
#### 対処法②: 短材化処理



- 短材化は通常の1/2程度が適している。
- ▶ 通常のほだ木と比較して断面の割合が多くなるため、水分管理が必要  
栽培棚などの設備があった方が、ほだ場にほだ木を多く収容できる。

#### 対処法③: 深植えの効果

- シイタケ用ドリル(8000~10000rpm)が使用可能な深さで十分  
→発生量、ほだ付きとも通常の1.5倍の深さが良好であったが、通常接種との差は小さい  
→深く穴を空ける場合は通常より時間がかかるため、効率も落ちる
- 接種した種駒の先端部に5~10mmの空隙あることが望ましい
- 樹皮の下材の部分に届くように接種すること



運搬車、チェーンソー作業が盛んな時期になりましたので、安全対策をしっかり行ってください。

また、山の場所は電話では説明しづらいので、**原木伐採時のケガ等を想定し、作業場所は必ずご家族の方などに伝えておきましょう。**

※平成23年度死亡事故件数

作業種別	件数	被災状況
椎茸作業	3	伐採中に転落(1件)、林内作業車の下敷き(2件)
伐採作業	6	掛かり木処理(2件)、伐採木下敷き(間伐3件、皆伐1件)
運搬作業	2	運搬トラック下敷き(1件)、林内作業車下敷き(1件)

## 5 散水の方法（原木しいたけ栽培入門テキスト（大分県農林水産部林産振興室）より）

植菌・原基づくり・発生・成長時など、しいたけ栽培にとって「水」は重要な要素の一つであり、近年の異常気象が「水」の重要さを改めて実感させてくれました。

生産者の皆さん、是非この機会に散水できる環境づくりをご検討下さい。

散水が可能な方は、ほだ木を下ろしてすぐに散水し、芽切りを促しましょう。

下の表は、原木しいたけ栽培入門テキストから、散水方法について抜粋したものです。

**※下記はあくまでも散水の目安です。**

**絶対に下記のとおりでなくては効果がないということではありません。**

**ほだ場の状況(湿度等)や天候(降雨の状況)を見ながら散水方法を調整してください。**

品種	散水時期、時間など	
290 ゆう次郎	【新 木】	ほだ場搬入後、連続で12～24時間。間欠散水は1日3～4時間を3～4日間。発生の80%を採取し、12～24時間程度散水。散水が長すぎると小葉になることがある。芽切り後に降雨が無い場合は、朝10時頃までに15～30分程度散水。
	【古ほだ】	最低気温が10℃前後になった頃、移動や天地返しの後新木と同じ方法で散水。
新908	【新 木】	ほだ場搬入後、6時間程度1～2日散水（1度に長時間の散水は集中発生し、小葉になりやすい）。
	【古ほだ】	最低気温が6～8℃、最高気温が15℃以下になった頃6時間程度を2～3日散水。古ほだになるほど強い刺激が必要（移動、倒木など）。
121	【新 木】	ほだ場搬入後、1日3～4時間を3～4日間（全散水時間12～24時間）。
	【古ほだ】	夜間の最低気温が10℃前後になった頃、移動や天地返しの後に24時間散水。
327	【新 木】	最低気温が14℃以下の時に、12時間程度の散水。
	【古ほだ】	気温25℃以下が続く9月～10月上旬に、12～24時間散水し、3～4日おきに3時間程度散水。発生操作は、最低気温12℃以下の時に、12～24時間散水。
115	【新 木】	ほだ場搬入後散水（24時間以上又は5時間×3回）。芽切り始めてから立て込む。
	【古ほだ】	気温25℃以下が続く9月～10月上旬に、12～24時間散水し、3～4日おきに3時間 11月下旬の5℃以下の日が5日程度続いた後に20～24時間散水。適宜生長散水。1月上旬中午前中の暖かい時間帯8時間×3日散水（芽切ったきのご採種後も同様）。
初春1号	【新 木】	ほだ場搬入後、1日3～4時間を3日～4日連続散水。
	【古ほだ】	夜間の最低気温が10℃前後になった頃、移動や天地返しの後に24時間散水。

### 【参 考】

#### ①散水施設の無い場合の対策例

新木は搬入後、古ほだは上表の散水時期と同じぐらいの時期に倒木状態にし、芽切り後立て込んで下さい。ただし、新908は降雨後の倒木はしないで下さい。

#### ②散水可能な水量が少ない場合（簡易散水など）

同じ水量でも2～3回に分けて散水すると、よりほだ木に水が染みこみやすくなるそうです。



倒木処理の事例

**⚠ 注意してください！！**

**水槽、タンクは農業分野で農薬使用したものは使わないようにして下さい！**

**（残留していた農薬が椎茸にかかる可能性が有ります。）**

大分県東部振興局 農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班  
 担当：坂本（国東市エリア） 伊藤（別府市杵築市日出町エリア）  
 TEL：0978-72-0156 FAX：0978-72-3697